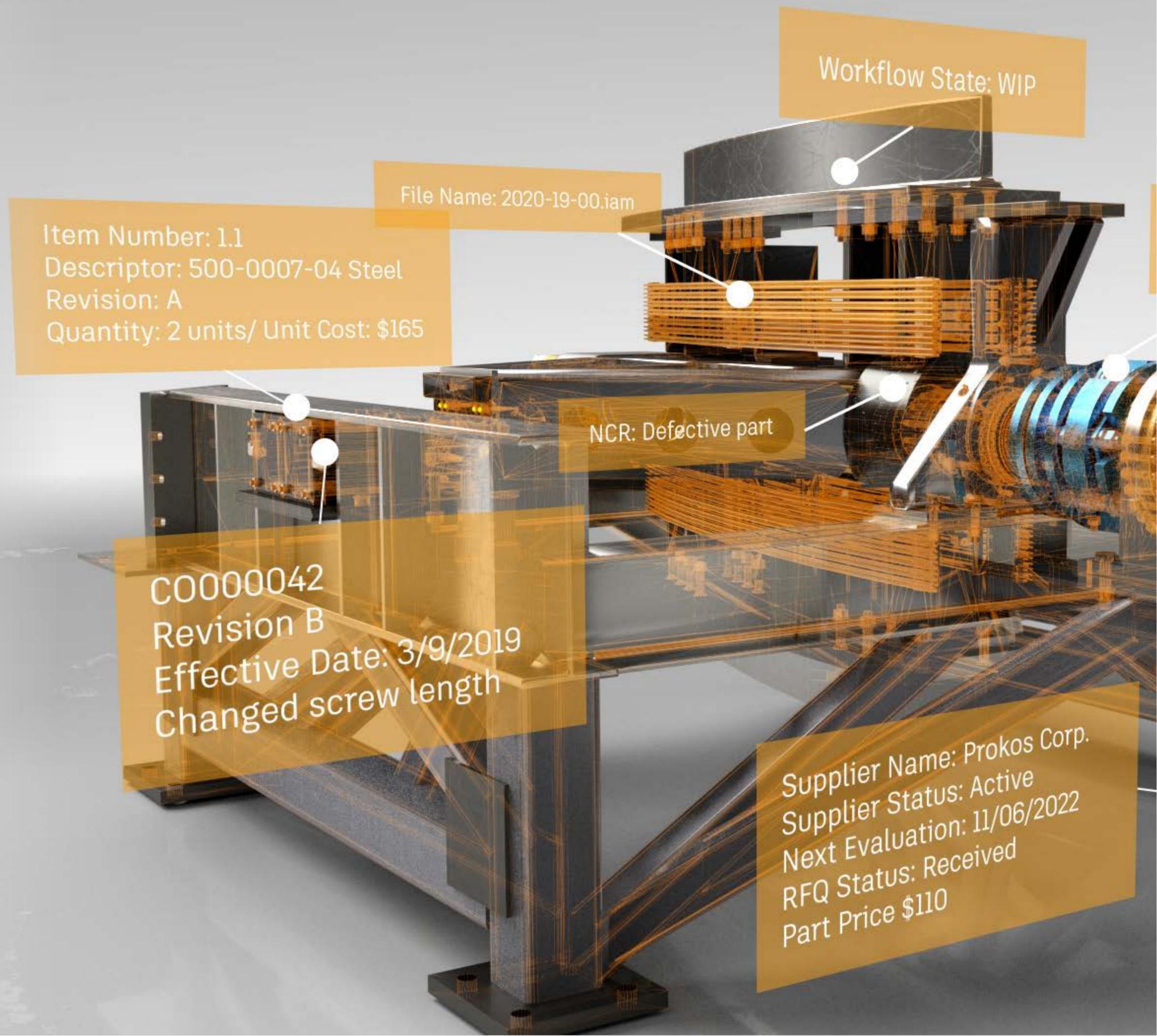


## PDM と PLM の違い、 そして両方が必要な 理由

製品データ管理 (PDM) と製品ライフサイクル管理 (PLM) のソリューションを組み合わせることで、品質の向上、コストの削減、製品の迅速な市場投入が可能になります。PDM と PLM のもたらすさまざまなメリットをご覧ください。



# 製品ライフサイクル を完全に管理

製品ライフサイクルには流動的な要素が数多くあるため、市場投入までの製品開発の過程でまったく問題が生じないことはめったにありません。時間、品質、コストなど、さまざまな要素の課題に直面します。そこで PDM ソフトウェアを使用すると、製品のライフサイクル全体を管理し、各フェーズを効率化することができます。コンセプトや計画の策定から、サービス、製品寿命に至るまでのライフサイクル全体を通じて、プロセスのボトルネックやサイロ化されたワークフロー、不十分なデータ共有などの非効率性に起因する一般的な問題が解決します。





## PLM と PDM で プロセスを強化

製品開発に PLM と PDM を使用することで、データ、プロセス、社内外関係者がすべてひとつに繋がり、効率的なコラボレーションが可能となり、管理能力が強化されます。

PDM では、低コストで設計データと製品データをすべて取り込み、整理することができるため、エンジニアリングプロセスが改善し、スピーディーな製品開発を実現します。PDM では、設計や設計部品表 (EBOM) をはじめとするすべてのデータをひとつのシステムで一元管理できます。

「PLM によって、当社の業務の進め方は変わりました。PLM プラットフォームではビジネス プロセスをモデル化できるため業務が効率的になり、製品開発がスピーディーになりました」

**Mark Keilholz 氏**

Greenpoint Technologies 社  
情報技術バイス プレジデント

## CAD データと 連携する Vault

Autodesk® Vault は、オートデスクの 30 以上の設計ツールと連携する PDM システムで、あらゆる用途に利用できます。Vault では、エンジニアリング データや設計データ、その他の幅広いドキュメントを取り込んでコンパイルし、製造に関するあらゆるデータを収集できます。設計者は、Vault にチェックイン/チェックアウトし、作業ステータスを簡単に変更できます。Vault は Inventor、AutoCAD、Revit の設計ツール上で直接動作し、データ管理に役立ちます。

「Vaultのおかげで、データ分析がスピーディーかつ正確になりました」

**Doug Frey 氏**

Aclara Technologies 社  
品質保証マネージャー

**I** INVENTOR®

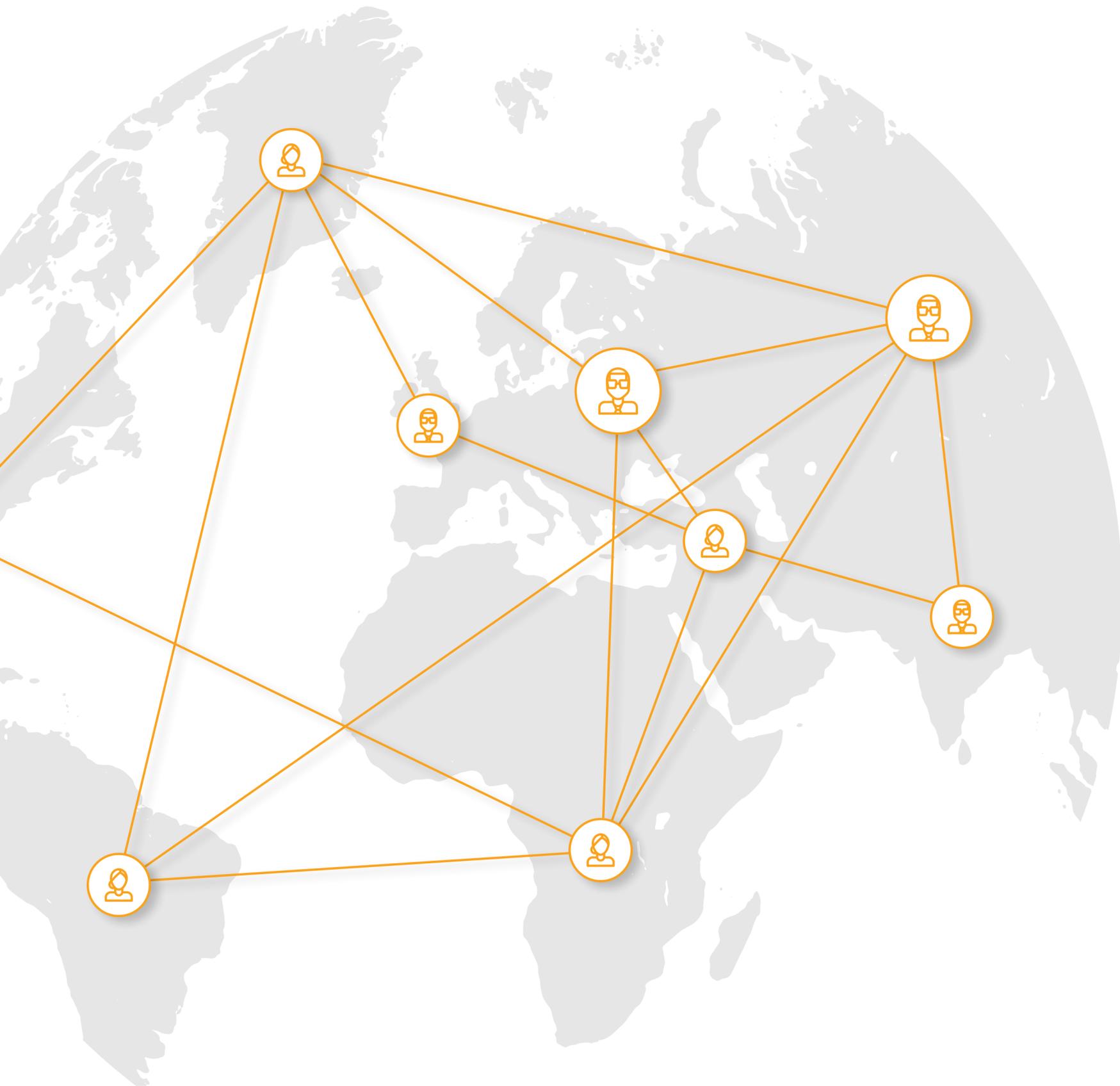
**R** REVIT®

**Office**

**C** CIVIL 3D®

**A** AUTOCAD®

**3** 3DS MAX®



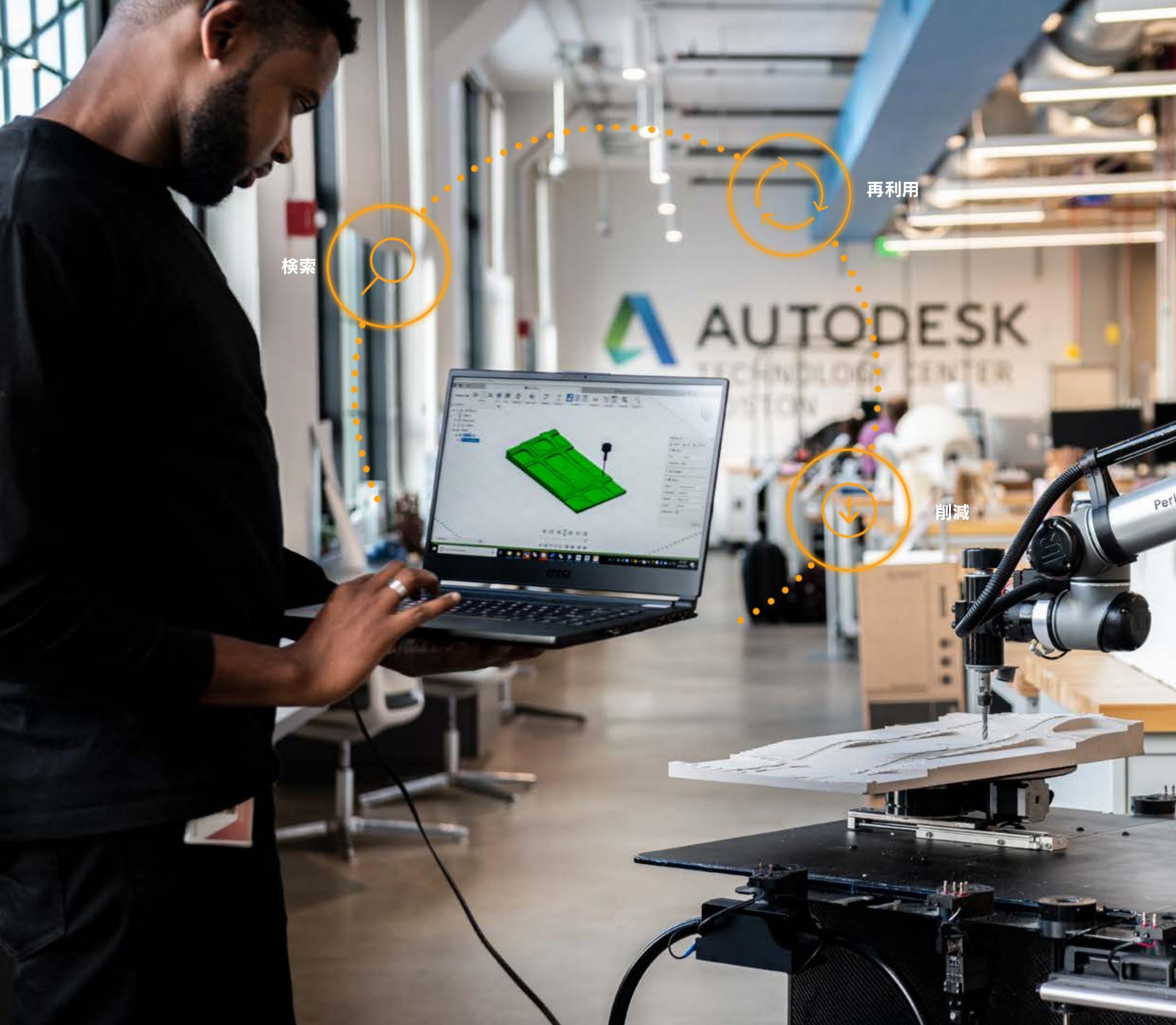
## Vault でコラボレーション

**どこからでもコラボレーションできる環境で、  
生産性が大幅アップ**

Vault は、小規模なチームから大規模なチームまで、ニーズに合わせてスケーリングできます。世界中のどこからでもアクセス可能なため、設計とエンジニアリングの作業をいつでも進行できます。世界中に分散するチームと簡単にコラボレーションでき、ファイルを上書きする必要もなく、同じファイルを共有しながら作業できます。

### **外部関係者と緊密に連携**

ファイアウォールが Vault を妨害することはありません。顧客やサプライヤー、下請け業者とも安全かつ効果的にコラボレーションできます。権限設定では、各ユーザーの役割やプロジェクトに基づいてデータへのアクセス、編集を管理できるほか、バージョン管理やトレーサビリティの確保を行いながらデータを共有し、共同作業で設計を進めることができます。



検索

再利用

削減

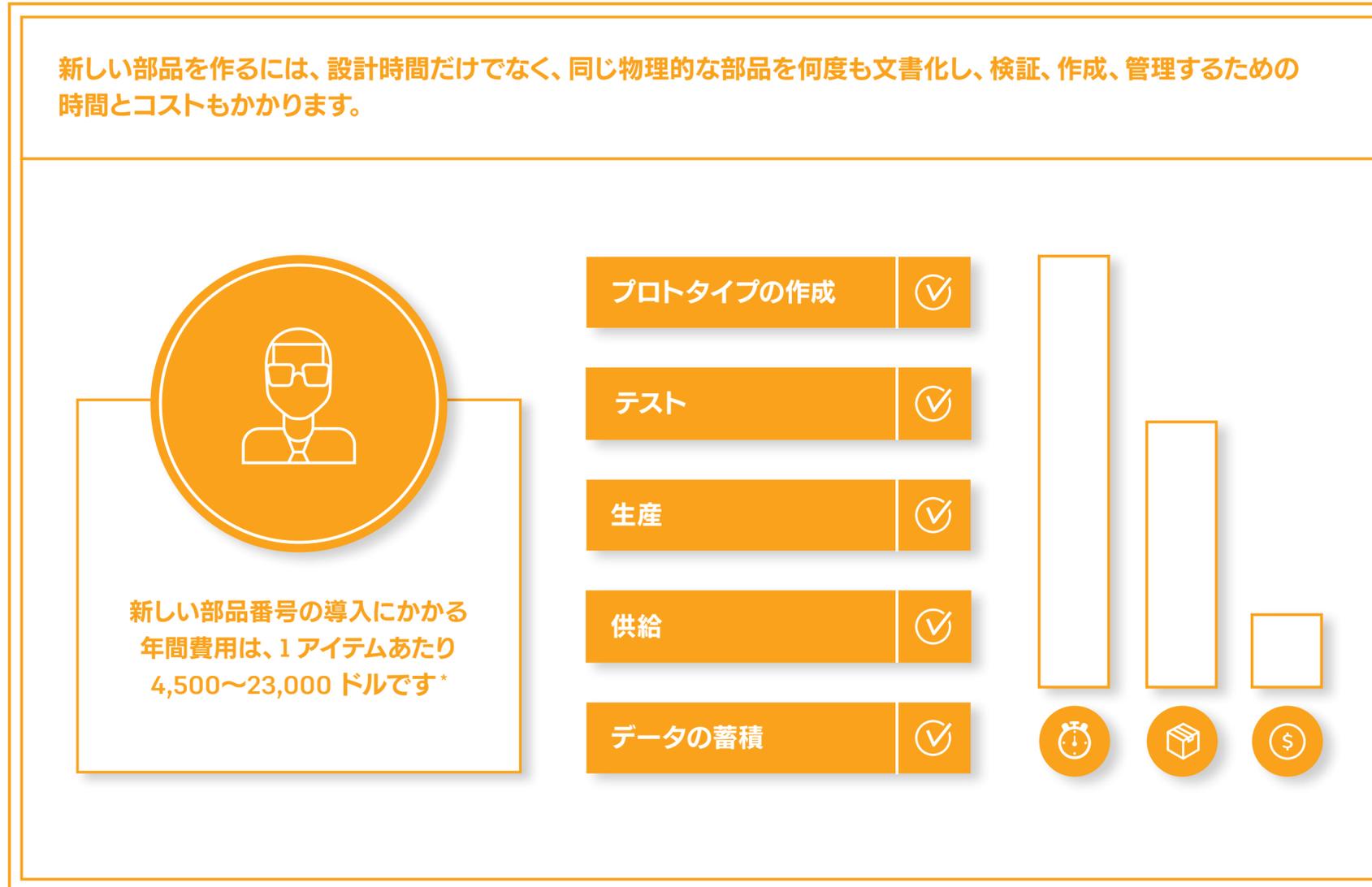
## Vault で生産性が向上

### 過去の設計を再利用

Vault のコピーデザイン機能などのツールを使用すれば、毎回ゼロから設計を始める必要がなくなり、過去の作業からライブラリなどの共通コンポーネントを取得し、コピーして使用できます。図面やタイトルブロックを更新するだけで設計が完了し、レビューへ進めることもできます。

### タスクの自動化で設計時間を節約

手作業や繰り返し作業を自動化し、最小限に削減できます。Vault の自動化エンジンを使用すると、PDF ファイルのパブリッシュ、バッチ印刷、データ転送、ファイルタイプの変換など、さまざまなタスクを自動化できます。



## Vault で 時間とコストを節約

新しい部品番号の導入にかかる年間費用は、アイテム1つにつき 4,500～23,000 ドルになります。\*そのため設計を開始する前に、類似した設計が既に作成され、承認されていないか確認する必要があります。

Vault には、同じ部品を見つけることのできる重複検索機能があります。この機能は、ファイル名や説明を検索するのではなく、ジオメトリを分析します。3D ジオメトリが検索され、Vault 内の重複する部品がすべて表示されます。適切な部品を再利用し、不必要に重複しているものを削除することで、何度も同じ作業を繰り返すことに時間を無駄にする必要がなくなります。

さらに Vault 内の重複する部品の割合を重複ダッシュボードに表示し、重複しているものを特定して簡単に削除できます。

# PDM と PLM を連携

データ管理能力が高まり、ビジネス プロセスが効率化します。データ管理とプロセス管理を組み合わせたオートデスクの PLM ソリューションを使用すれば、企業は高品質な製品をスピーディーかつ低コストで開発できます。

1. 部品表の管理: 構造化された製品 BOM を企業全体で一元管理、共有できます。
2. 変更管理: 変更要求や変更管理の提出、追跡、承認に必要な詳細情報を明確に把握できます。
3. サプライヤーとのコラボレーション: 企業が必要とする情報にいつでもどこからでもアクセスできるため、常にグローバル サプライチェーンと連携できます。

4. 新製品の開発: プロジェクト テンプレートを構成し、フェーズごとにマイルストーンや成果物を標準化したり、製品ライン/事業部門/製品チームごとにタスクを標準化したりできます。
5. 品質管理: 品質管理ワークフローを自動化し、変更を追跡・記録し、品質指標を分析して問題を未然に防ぐことができます。
6. データ管理: 製品関連の情報をすべて一元管理することで、コラボレーションが改善し、設計の再利用や改訂の追跡、エラーの削減、生産性の向上が実現します。

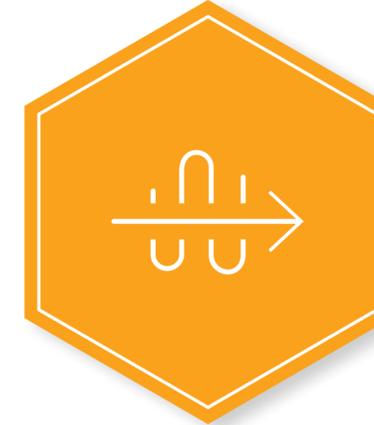
「オートデスクの PDM と PLM は、素晴らしい機能を備えています。当社ではグローバルに製品開発プロセスを最適化する上で、非常に役に立っています」

**Doug Frey 氏**

Aclara Technologies 社  
品質保証マネージャー



製品データを一元管理



製品開発とビジネス プロセスを  
スピードアップ

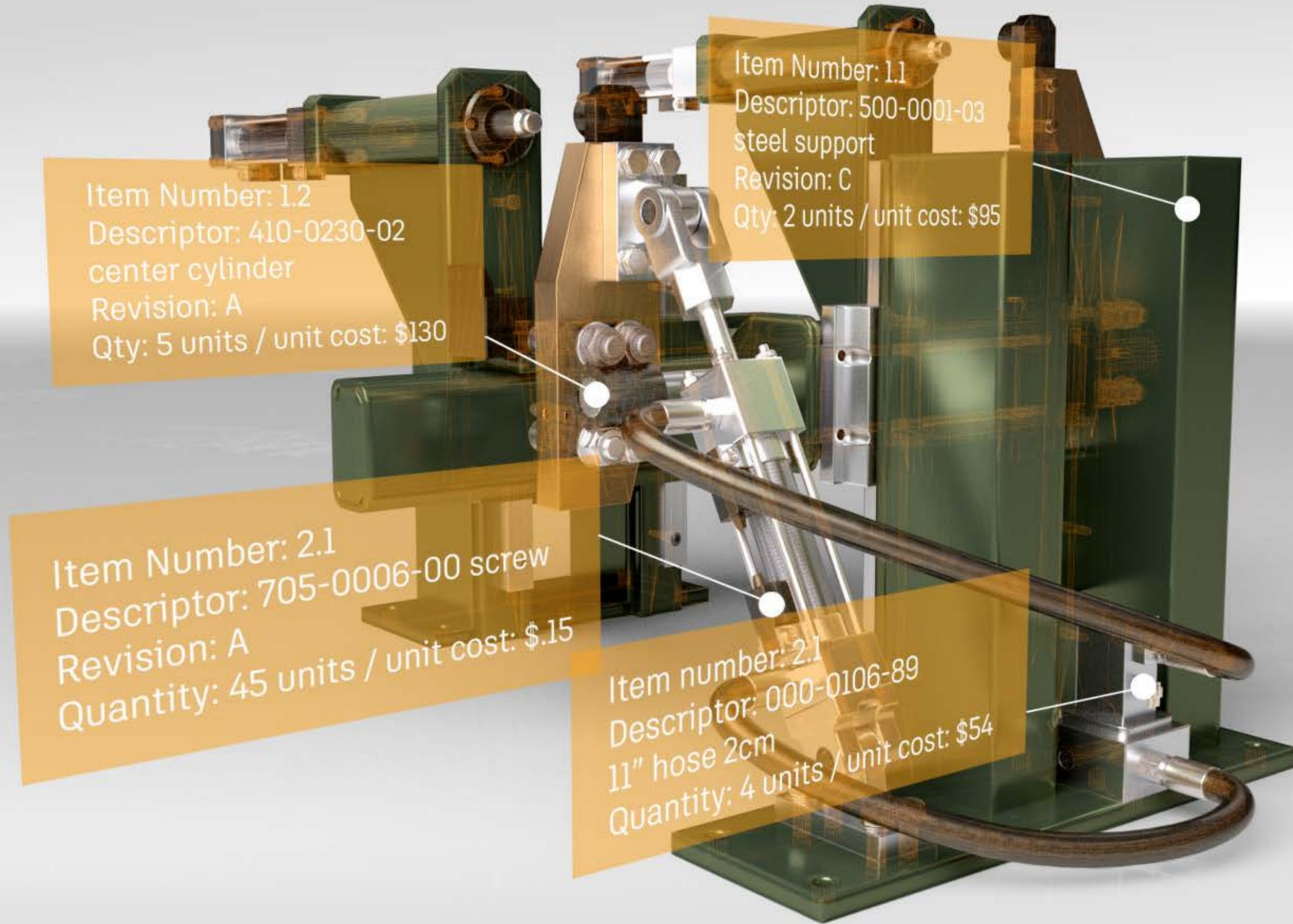


製品データの価値を向上



## 製品開発プロセスの 全体を管理

全関係者間でしっかりと連携しながら開発を進め、スケジュールと予算を確実に守りつつ、新製品を市場投入することが可能になります。オートデスクの PLM ソフトウェアですべての情報を一元管理しながら、新製品導入 (NPI) の進捗を管理します。構成可能なプロジェクトテンプレートを使用して、マイルストーン、成果物、タスクを標準化できます。リアルタイム データを使用するため、プロジェクトの全体像や次に何が必要かを、常に明確に把握できます。



Item Number: 1.2  
Descriptor: 410-0230-02  
center cylinder  
Revision: A  
Qty: 5 units / unit cost: \$130

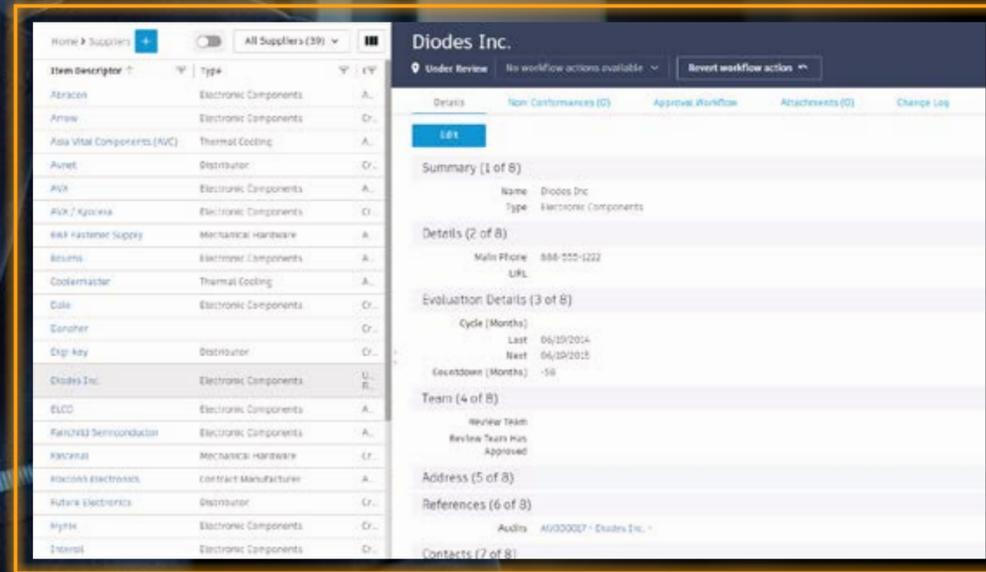
Item Number: 1.1  
Descriptor: 500-0001-03  
steel support  
Revision: C  
Qty: 2 units / unit cost: \$95

Item Number: 2.1  
Descriptor: 705-0006-00 screw  
Revision: A  
Quantity: 45 units / unit cost: \$.15

Item number: 2.1  
Descriptor: 000-0106-89  
11" hose 2cm  
Quantity: 4 units / unit cost: \$54

## 製品データの 価値を向上

製品ライフサイクル全体を通じて部品表 (BOM) の管理を行います。設計から調達、製造までのプロセス全体を通じて、製品データの価値を向上できます。製品の履歴データを簡単に分析したり、CAD から他の基幹業務システムまで、製造・納品スケジュールを追跡したりできます。



## サプライヤーの管理 がシンプルに

企業内のさまざまな流通ネットワークを検討し、最適なサプライヤーを PLM 環境に取り込みます。サプライヤー コラボレーション モジュールを使用すると、BOM の全アイテムについて、プライマリ サプライヤー、バックアップ サプライヤー、および使用しないサプライヤーを一度に確認できます。オートデスクのアプリとワークスペースでは、安全かつタイムリーにサプライヤーを管理でき、さらに定期的に監査を行うことで、業界標準に準拠しているかどうかを管理できます。

また、サプライヤーのアクセス権を管理し、セキュリティをしっかりと守ることもできます。入札状況から、見積価格、依頼可能かどうかまで、サプライヤーに関するあらゆる情報を Autodesk PLM で管理できます。

## 企業全体の 変更を追跡

部品の履歴やインサイトを、包括的な監査証跡に保持できます。製品の変更内容はすべて文書化されて一元管理されるため、オーナーやサプライヤーは情報を簡単に追跡し、変更の影響範囲を把握できます。さらにコラボレーション環境では、関係者全員が簡単かつリアルタイムに変更要求を監視できるため、ボトルネックも解消します。

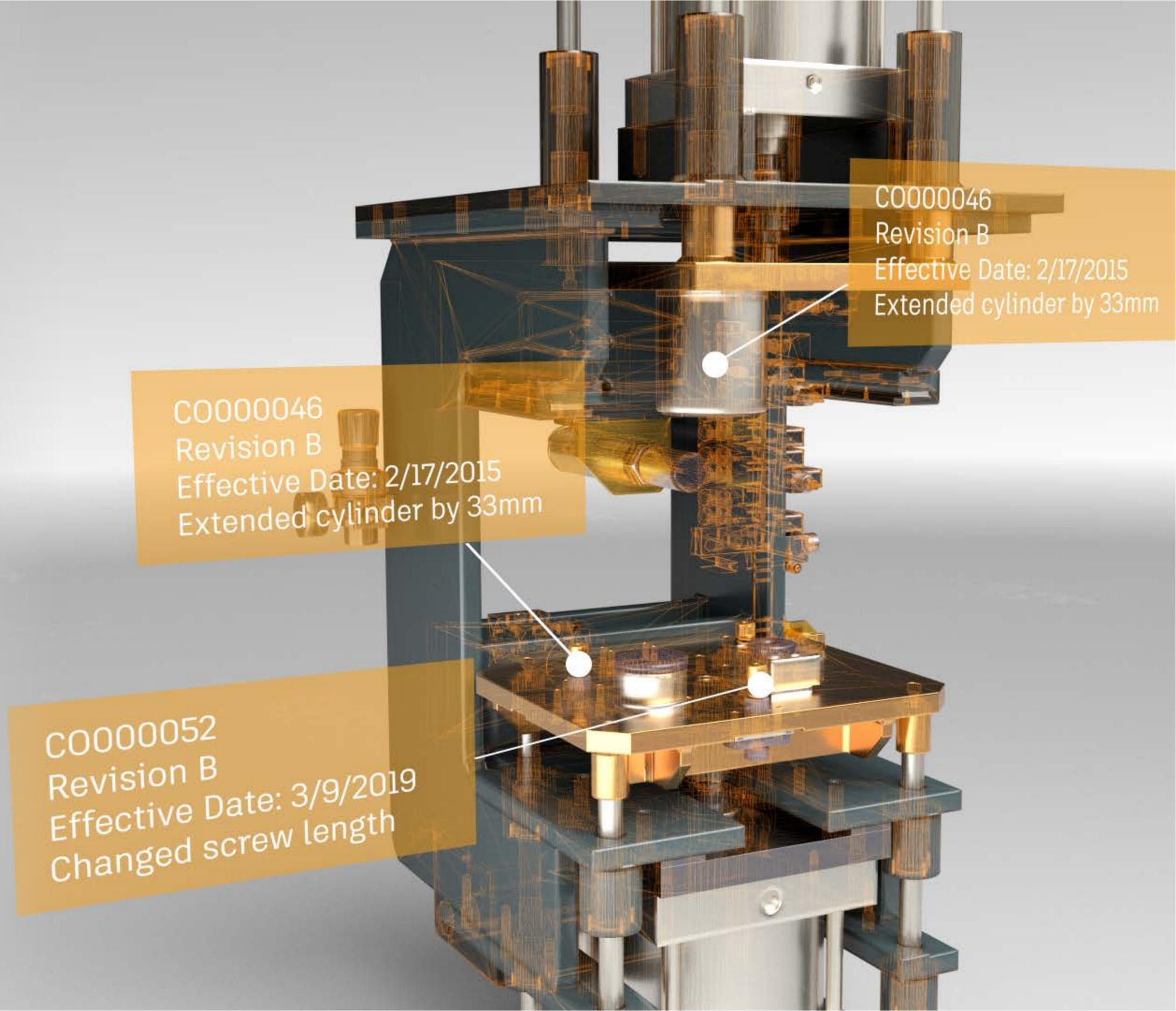
### 品質管理でプロセスが進化

不適合な品質の識別/分析から、RMA/CAPA/設計変更までの品質管理ワークフローを自動化できます。品質データや重要なプロセスをすべて包括的に把握しつつ、品質問題の発生を防止（または迅速に解決）できます。すべての情報が監査証跡で管理され、完全なトレーサビリティを確保できます。

C0000052  
Revision B  
Effective Date: 3/9/2019  
Changed screw length

C0000046  
Revision B  
Effective Date: 2/17/2015  
Extended cylinder by 33mm

C0000046  
Revision B  
Effective Date: 2/17/2015  
Extended cylinder by 33mm





## さあ始めましょう

オートデスクの製品データ管理 (PDM) と製品ライフサイクル管理 (PLM) ソリューションのメリットを、今すぐご確認ください。

[詳細はこちら](#)



Autodesk およびオートデスクのロゴは、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

